■次期学習指導要領策定に向けた提言
～情報教育の質的転換と AI 時代におけるリテラシー育成の推進～

・はじめに

中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会における「審議まとめ」では、次期学習指導要領において、情報活用能力の抜本的な向上に向けて、小学校から高等学校まで情報教育の体系的・系統的な充実が図られることとされている。小学校では、体験的な活動の中で情報活用能力を育む重要性を踏まえ、総合的な探究の時間に「情報の領域」を付加し、中学校では、より発展的に情報技術を理解・活用して問題発見・解決する力を育成する観点から、「情報・技術科」として大幅に充実を図ること、また、小・中学校での整理を踏まえ、高等学校の情報科の内容をさらに充実する方向とされている。この議論を踏まえ、次期学習指導要領の策定に向けて、授業時数の再編、情報教育の本質的な質の向上、ならびに生成 AI 時代に対応したリテラシー教育のあり方について、以下のとおり提言する。

1. 情報教育の充実を通じた各教科の学びの充実

小学校 3 年から中学校 3 年までの各教科等の標準授業時数について、現在 35 コマ以下であるものを除いた教科・領域（※）から、一律 3～4%程度の時数をいわば「広く薄く」減じ「情報」関係教科へ割り振る方策については、現在、各教科に分散している情報教育の集約・体系化として評価できる。現状、タイピングやプログラミング、グラフ作成、発表資料の作成・整理といった教育内容が各教科で十分に関連付けられることなく類似・重複して行われている。これらを「情報」関係教科において、ICT の賢い活用方法等を体系的に教育することにより、国語や算数など他教科の本質的な教育に十分な時間を割り当てることが可能となる。
（※）小学校では、国語、社会、算数、理科、音楽、図画工作、家庭、体育、総合的な学習の時間

2. 情報教育の本質追求と「プログラミング的思考」の育成

情報教育の目的は、単なる機器・ツールの操作習得やプログラミングスキルの向上にあるのではない。その本来の目的は、解くべき問題が何なのか、そして何が目的であるのかを自ら把握し、そのために必要なデータを収集し、データから有用な情報を抽出・分析するなど、問題解決に必要な論理的思考力を養うことである。生成 AI がプログラムを自律的に作成できる時代において、プログラミング学習は将来の職能スキル獲得のためではなく、AI を主体的かつ高度に使いこなすために必須となる「プログラミング的思考」を培う手段として改めて位置付けるべきである。

3. 「情報」関係教科を核とした教科間連携と学習効果の相乗化

「情報」関係教科で培われる情報活用能力や論理的思考力は、国語や算数をはじめとする従来の教科に

おいても必要不可欠な基盤能力である。例えば、長文における論理的な展開の把握は言うまでもなく、複数媒体の比較や、情報発信者の意図を確認するといったメディアリテラシーに関わる学びは、国語科で学習する引用や出典の示し方や、情報の信頼性を確かめるなどの学習とも深く関わり、調査データの分析等に関わる学びは、算数や数学で学習する統計的な問題解決等とも深く関わるものである。単に情報のために国語や算数・数学の授業時間を削るべきではない、といった議論は、今回示されている方向性を誤認した指摘であると言わざるを得ない。これらを「情報」関係教科において強化した上で、国語や算数・数学をはじめとする各教科の授業において適宜「情報」関係教科での学習内容を参照・応用しながら指導を進めることで、「学ぶ意義」を実感することにもつながり得るなど、単なる教科間での知識の切り分けにとどまらない深い学習の相乗効果が期待できる。

4. 生成 AI の普及に対応したリテラシー・道徳教育の明確化

生成 AI の普及に伴う依存への懸念に対し、海外の一部都市（ニューヨーク市の小中学校等）で見られるような「利用禁止」措置も考えられるが、児童生徒が学校外で過ごす時間を考慮すれば、学校を離れた場所で無計画に AI へ接触するリスクは避けられない。したがって、学校教育において AI 活用のリテラシーや倫理を教えないことはかえって無責任である。安易な排除ではなく、「AI を使いこなす力」を身に付けられるよう「情報」関係教科や道徳などに AI との望ましい付き合い方や規範意識を組み込み、適切なリテラシーを教育すべきである。

5. 教員および保護者を対象とした AI リテラシー教育プログラムの早期拡充

子どもに対するリテラシー教育を実効性あるものとするためには、現場で指導にあたる教員、ならびに家庭で子どもを見守る保護者の理解と対応力が不可欠である。子どもへの教育充実と並行して、教員の指導力向上や家庭における適切な指導を後押しするための「教員・保護者向け AI リテラシー教育プログラム」の早急な拡充を求める。

・おわりに

次期学習指導要領においては、情報教育を単なるスキルの付け足しではなく、AI 時代を生き抜く論理的思考と道徳的判断力を育む中核として位置付け、実効性のある教育改革を推進されたい。